

このたびは、『折りたたみゴミ収集箱』をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。本製品を正しくお使いいただくためにこの説明書をよくお読み下さい。

## 折りたたみゴミ収集箱

取扱説明書

**株式会社カイスイマ**  
富山県高岡市吉久1丁目2番48号  
TEL0766-84-5677(代表) FAX0766-84-5354

## 設置場所のご注意



**注意**

次の注意次項を守って下さい。

注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

- 上空からの落下物の危険がない場所へ設置して下さい。
- 屋根から雪が落ちる場所へは、設置しないで下さい。
- 地面がやわらかい場所は、地固め等を行ってから設置して下さい。
- 防災を妨げる場所（消火栓等）の近くには、設置しないで下さい。
- 道路法や道路交通法を妨げる恐れのある場所。

## 使用上のご注意



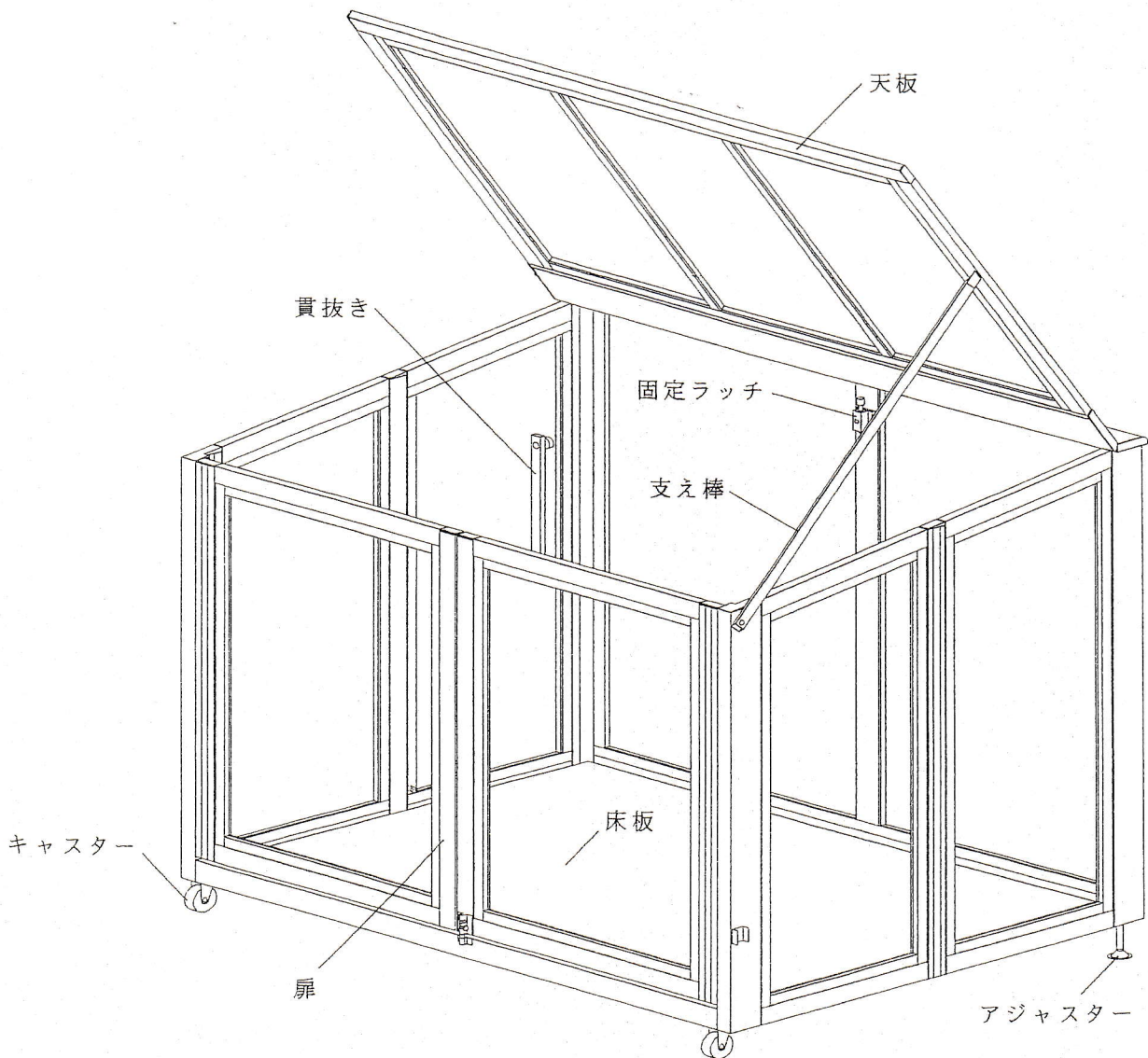
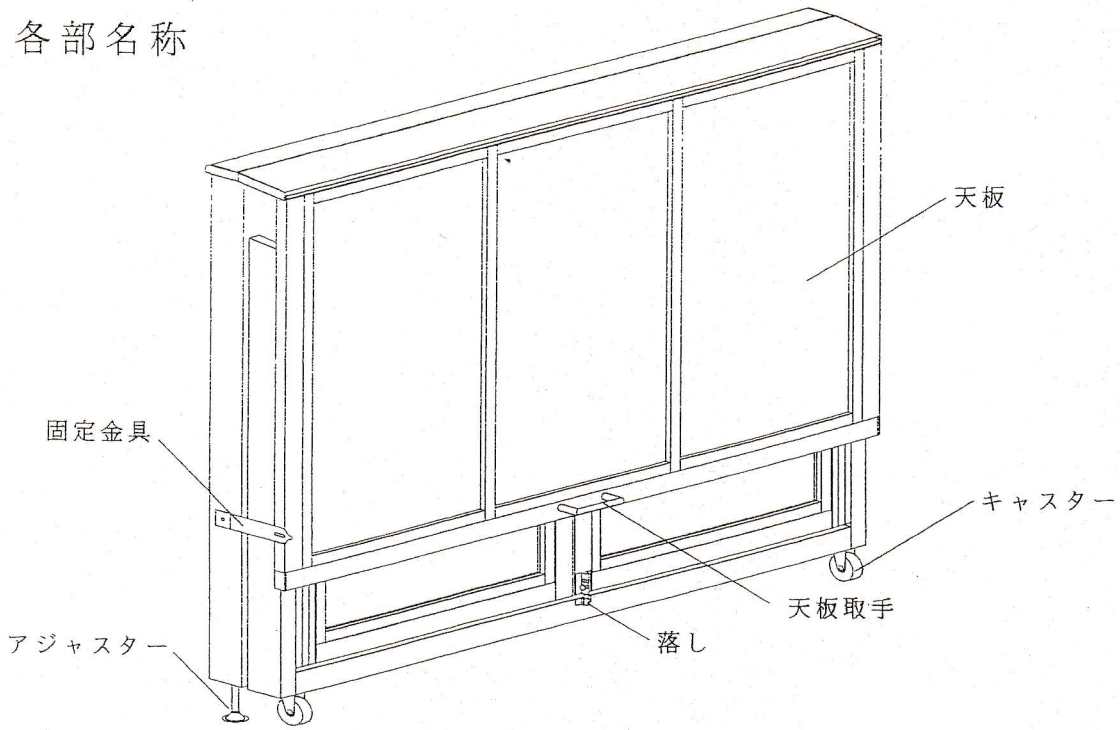
**注意**

次の注意次項を守って下さい。

注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

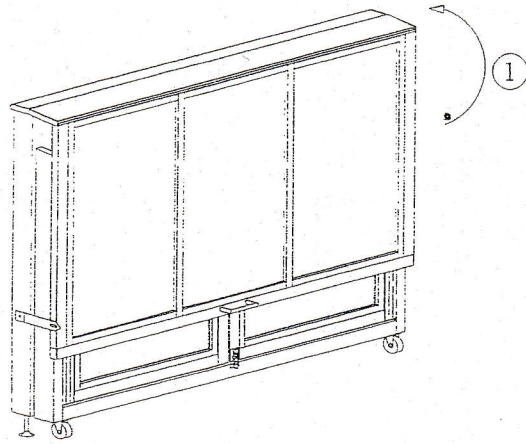
- 使用前にこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。
- 子供が近くで遊ぶ時には、充分注意して下さい。
- 天板の上に人が乗ったり物を載せないで下さい。
- 本製品に物をたてかけないで下さい。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないで下さい。事故やけが、故障の原因になります。

各部名称

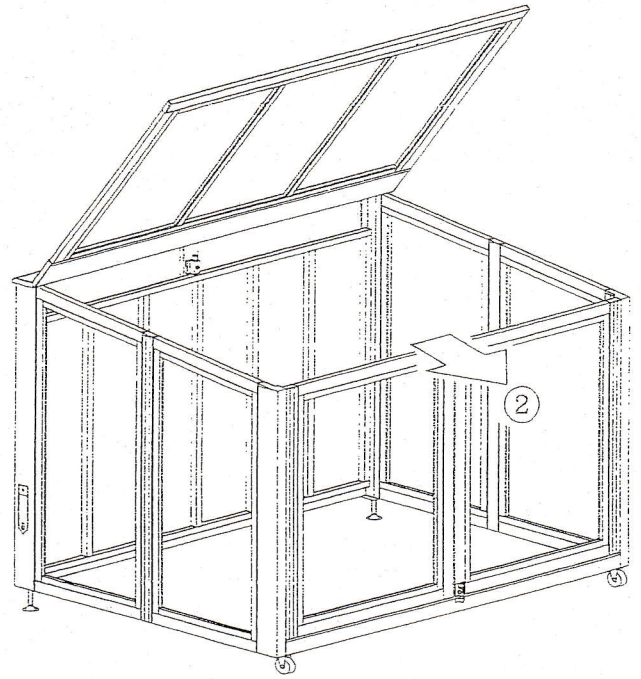




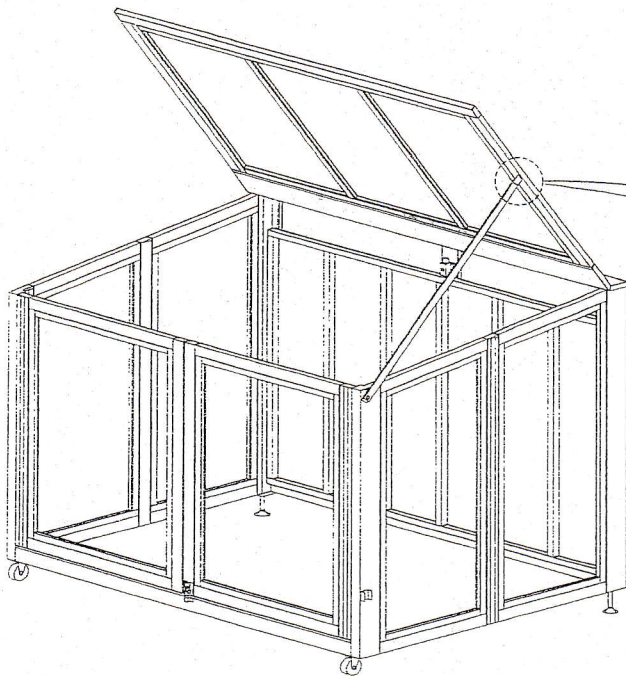
## 使用時の取り扱い手順



手順1：まず固定金具を外し天板をまくります。



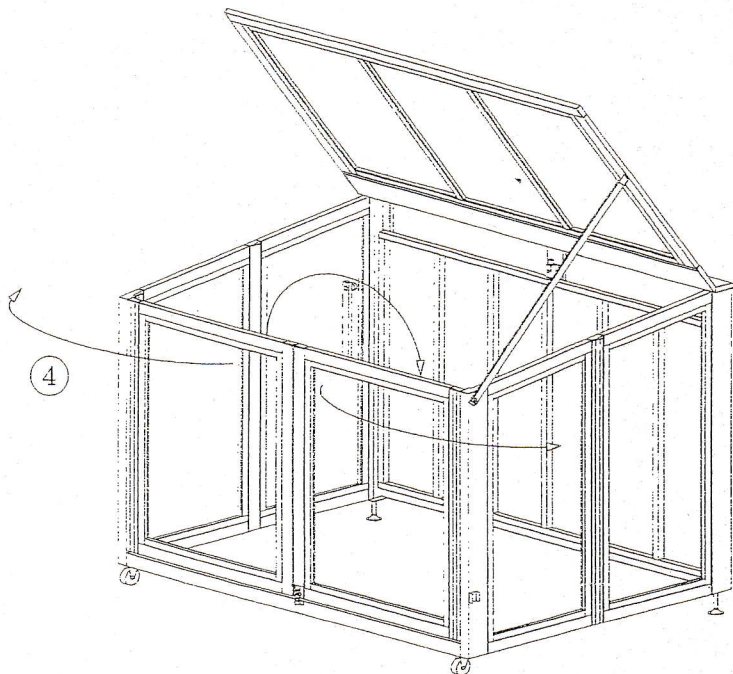
手順2：天板を支えながら前面部分を手前に引出します。（この時、製品本体の前面と側面が直角になるようにして下さい。直角になっていないと底板が入りにくくなります。）



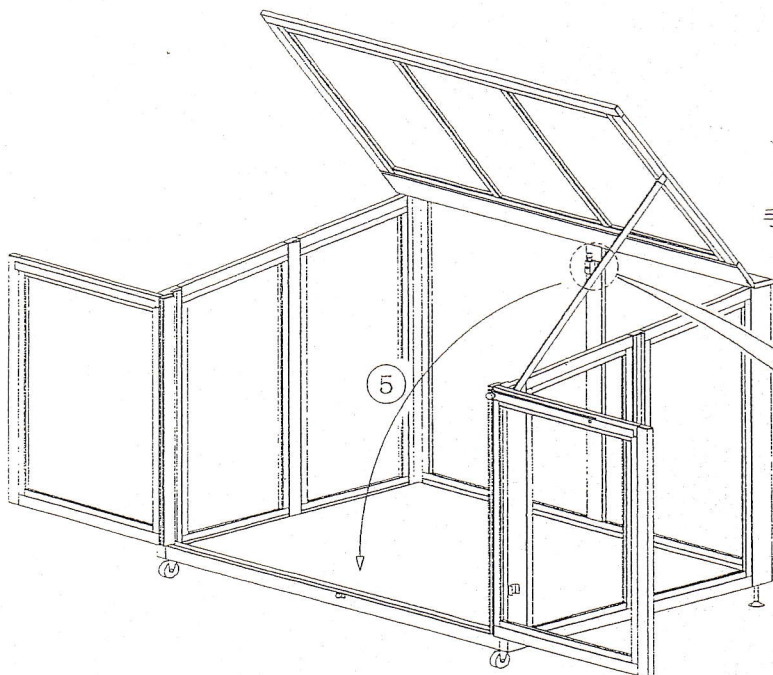
先が尖っている  
ので注意

この部分を穴に入れる

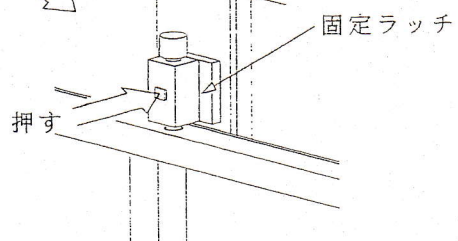
手順3：天板を支えながら支え棒のフックを穴に入れます。



手順4：扉上部の貫抜きを回転させ、扉下部の落しを解除します。その後扉を開きます。



手順5：奥にある床板を下図の様に固定ラッチを解除し、手前の方へ倒します。その後扉を閉め、落としと貫抜きをかけます。

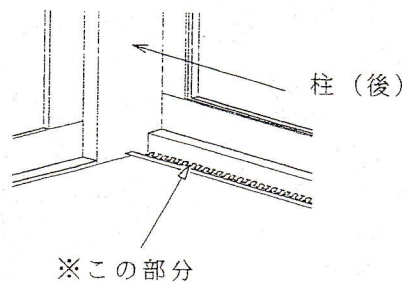


折りたたむ時は、取り扱い手順の逆の手順で行って下さい。

注) 折りたたみ時には、指や手を挟む恐れがありますので充分注意して下さい。

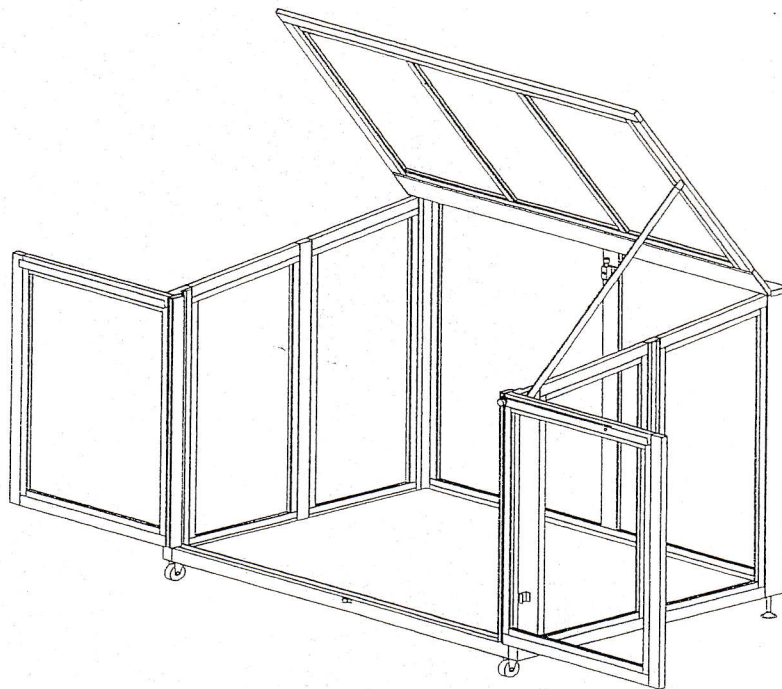
## 日頃のお手入れについて

○ 床板の回転部分（右図）にホコリやゴミ等がたまりまると床が回転しにくくなり、故障の原因となりますので定期的に掃除をして下さい。



## 回収日の朝について

○ ゴミの回収作業に手間がかかりますので清掃車が回収に来るまでには、扉を開けて頂きますようご協力の程をよろしくお願い致します。





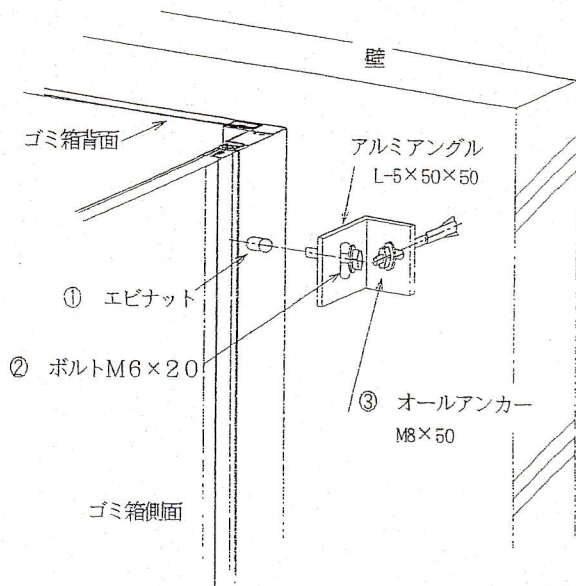
## メンテナンスについて

- 表面に付着した土ぼこりや砂等をやわらかい布でふき取って下さい。強くふきますと付着している土ぼこり砂等で表面にキズを付けることがありますので、丁寧にふき取って下さい。
- 洗剤を使用する場合には、中性洗剤をぬるま湯でうすめてやわらかい布かスポンジで洗って下さい。その後、水で洗い流して下さい。洗剤が残っていると腐蝕の原因となります。
- シンナー・ベンジン・殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますので使用しないでください。

## 製品仕様書

外径寸法 (mm)	1 2 2 0 (幅) × 9 1 0 (奥行) × 1 0 7 0 (高さ)	
有効内容積 (m <sup>3</sup> )	0. 9 8 m <sup>3</sup>	
内容物の重さの限度	1 2 0 k g	
製品重量	4 5 k g	
材質	本体部材	アルミ押出型材
	嵌込材	エキスパンドメタル
	床板	3mmカラーエース
	床板補強材	角形鋼管 (STKR-S)
仕上	本体部材	シルバー (アルマイト処理クリア付)
	嵌込材	シルバー (亜鉛メッキ)
	床板	ホワイト (クリア付)
	床板補強材	ブラック (ジュラクロン焼付塗装)

折りたたみゴミ収集箱の設置後固定金具等強度について



(1) エビナット (A1) M6の引き抜き強度

$$= 1100 \text{ kg} \cdot \text{f}$$

(2) 本体取付けボルト M6×20 (SUS) の強度

$$\begin{aligned} \text{ステンレスボルトの引張り強さ} &= 5100 \text{ kgf/cm}^2 \\ \text{耐力} &= 2140 \text{ kgf/cm}^2 \\ \text{せん断応力} &= 5100 \times 0.7 \\ &= 3570 \text{ kgf/cm}^2 \end{aligned}$$

$$\text{M6ボルトの有効断面積} = 0.2 \text{ cm}^2$$

$$\begin{aligned} \text{従ってこのボルト1本の引張り強度 (耐力)} &= 2140 \times 0.2 \\ &= 428 \text{ kgf} \\ \text{せん断力} &= 3570 \times 0.2 \\ &= 714 \text{ kgf} \end{aligned}$$

(3) 壁取付け用オールアンカー (M8×50) の強度

$$\begin{aligned} \text{1本の引き抜き強度} &= 705 \text{ kgf} \\ \text{せん断強度} &= 1030 \text{ kgf} \end{aligned}$$

※上記は、各1本の強度です。

(1セット当各2本使用)

支柱 (55×35) 1本の強度

$$\begin{aligned} \text{支柱の断面係数 } Z_x &= 4.967 \text{ cm}^3 \\ \text{アルミの強度 } \sigma &= 1500 \text{ kgf/cm}^2 \end{aligned}$$

$$\sigma Z = M$$

$$M = P L$$

$$1500 \times 4.967 = P \times 1000$$

$$P = 74.5 \text{ kgf}$$

オールアンカー (M12×100) の強度

$$\text{1本の引き抜き強度} = 1826 \text{ kgf}$$

$$P \times L_1 = T \times L_2$$

$$P \times 100 = 1826 \times 4.9$$

$$P = 89.5 \text{ kgf}$$

※上記は、各1本の強度です。

(1セット当各2本使用)

